



令和3年度を終えて

園長 日高好治

モクレンやコブシの花に続き、桜の花が目を楽しませてくれるようになりました。季節は着実に春の到来を実感させてくれます。

3月15日(火)には、式次第の一部を省略したり、御来賓の招待を見合わせたりするなど新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、令和3年度卒園式が開催されました。立派な態度で卒園証書を受け取る我が子の晴れ姿をご覧になり、卒園児の保護者の皆様も胸が熱くなったのではないのでしょうか。卒園児の小学校での活躍を心より念じております。

また、卒園式後には卒園児保護者の皆さんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとった上でミニ謝恩会を本堂で開いてくださいました。心のこもったプレゼントや懐かしくかわいいビデオに職員一同、感動し感謝の思いで会場を後にしました。

本年度も私たちは、東俣幼稚園の園児と保護者や職員同士も新たな出会いを得て出発しました。間もなく、本年度が終了します。保護者の皆様には、園の保育並びに教育活動に対しましてご理解とご協力をいただきましたことに感謝いたします。一年間本当にお世話になりました。

令和4年度は東俣幼稚園の最後の1年となります。充実した1年となるよう職員一同取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



< 卒園児による歌の披露 >

【保育信条：尊いみ教を聞いて ほとけの子を育てます】

3月の主題

奉仕(ほうし)＝おてつだい

一般に幼児の「おてつだい」は受ける側にとって、労力の手助けとはならないことが多く、かえって邪魔になることさえあつたりします。しかし、大人の仕事を幼児が少しでも体験するということは、社会性を広げるという意味においてとても貴重なことです。またそれ以上に、子どもたちが自分以外の対社会的なことに参加し、その一員となって積極的に他に貢献しようとする意欲は大切に育み伸ばしていきたいものです。本来「おてつだい」とは、見返りを期待しない「無償」の行為のことです。また子どもたちにとってそれは興味ある遊びの一つであると共に、他人から信頼され、一人前として認められたことに喜びを感じるまたとない良い機会だと言えます。ですから、もし子どもたちが自らお手伝いをするを申し出た時には、たとえ少しくらい時間がかかったとしても、出来るようなことであれば務めさせ、もし無理な時には、その思いを認めるようにするなど、いずれの場合でもその心持ちを褒めるようにしたいものです。



愛泉園訪問(3/17)

コロナ感染症拡大防止対策を講じた上で愛泉園に訪問しました。子どもたちからの歌やダンス、手作りの鉛筆立てのプレゼントにおじいさんやおばあさんは満面の笑顔を浮かべていました。子ども達も満足した表情を浮かべていました。優しい思いが響き合った訪問となりました。



園児とのふれあいを通して



サメごっこ(3/14)

卒園式を翌日に控えたひまわり組さんが園庭で遊んでいる姿を見て、私も園庭に出てみると、すぐに、「サメごっこしよう。」の声がかかり、サメごっこが始まりました。まだまだ、ひまわり組さんとも遊びたかったなあと思いながら、思いっきり遊ぶことができました。いい思い出となりました。

認められたい子どもたち

「園長先生見て見て」と言って、上手にとべるようになったなわとびを見せてくれるお友達。

「園長先生、給食食べられたよ。」と苦手なことを頑張ったことを教えてくれるお友達。

得意なことや、苦手なことを頑張ったことを認めてほしいと思うのが子どもだなあと感じる毎日です。これからもいっぱいほめてあげようと思います。



卒園記念品をいただきました

保護者の皆様から卒園記念品として、「メカマンブロック」と「マグブロック」をいただきました。既に、子どもたちは夢中になって遊んでいます。

ブロックは子どもたちの人気のおもちゃです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

